

■ ワークショップを終えて



のんびりやろまい。



新しい発見がありました！



おつかれさま～

今回ワークショップを開催して、参加して下さった皆様から、いつも感じている想いや、今回初めて気がついたことなど、多くの意見を伺うことができました。また話し合いを通して、考え方を深めることもできました。

普段、何気なく見ている風景も、テーマを持って見ると新しく気づくことも多くあります。これを読んでいる皆様も、ぜひ、いつもとは違う視点で、お住まいの地域を見つめなおしてみませんか？

■ 次回のお知らせ

今回は、第1回の「まち歩き」の結果を踏まえ、「藤川地区がめざす風景（景観）づくり」を考えます。

藤川地区の個性や特色を活かすためには、どのような風景（景観）をめざしていったらいいのか、話し合います。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

藤川景観ワークショップ

第2回

開催のご案内

■ テーマ

藤川地区がめざす風景（景観）づくり

とき

平成21年10月18日 日

午後1時～ 3時間半程度

ところ

藤川学区市民ホーム

多数のご参加
お待ちしております！

※室内での話し合いを行います。
持ち物などは特に必要ありません。

◆ お問い合わせ先 ◆

岡崎市役所 都市整備部 都市計画課

電話：0564-23-6522 FAX：0564-23-6514

メール toshikei@city.okazaki.aichi.jp

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました！



藤川景観ワークショップニュース

かいらん

Vol.1 2009年9月
編集・発行 岡崎市
都市整備部 都市計画課

32人の市民が参加し、様々な視点から藤川地区の風景の現状を見て歩いた結果をご報告します。



格子が良いねえ。

歴史を感じさせる！

田口屋の前にて

地区の個性や特色を活かした藤川らしい風景（景観）づくりについて考えるために、「百年後の藤川地区の風景（景観）」をテーマにしたワークショップがおこなわれました。

■ 第1回ワークショップの概要

9月19日の午後、第1回藤川景観ワークショップが開催されました。

第1回のワークショップでは「100年後の藤川地区の風景（景観）」を考えて、西棒鼻から東棒鼻までを3つのチームに分かれて歩きました。

各チームは、それぞれ100年後の藤川の風景に「残したい」「いらない」「欲しい（つくりたい）」ものというテーマで、まちなみを観察し、藤川の風景について話し合いました。

ワークショップの様子



いざ出発！

チームごとに「まち歩き（景観さがし）」



皆はどう思う？

話し合っ「まち歩き」のまとめ



なるほど！

結果を発表

●スケジュール●

1. はじめに（あいさつ）
2. 景観さがしのコツ
 - ・景観さがしのテーマの説明
 - ・テーマごとのグループ分け
 - ・他己紹介
3. まち歩き（景観さがし）
 - ・まち歩きのルート確認
 - ・テーマ別のまち歩き
4. 景観探しの発表と意見交換

■ワークショップの結果

「まち歩き」を終えて、各チームからたくさんのご意見がいただきました。以下に主なご意見を示します。

■百年後の藤川に…残したい

○藤川宿の歴史を感じられるもの

- ・伝統的な様式の建築物（銭屋や米屋など）を残したい。
- ・街道側に傾斜した灰色の瓦の屋根（平入り）を残したい。
- ・脇本陣の堀の土台や、城山ノ川の護岸に残る石垣を残したい。
- ・常夜燈や社寺の参道を残したい。
- ・歴史を解説した道標など、歴史を感じられるものは残したい。

○かつての宿場町の雰囲気と調和する現代建築物

- ・和風の落ち着いた色調の家は残したい。
- ・窓に格子をつけるなど藤川宿のまちなみと調和するデザインの家は残したい。

○山や畑の風景

- ・薬師山など、まちなみの背景となる山並みは残したい。
- ・城山ノ川の裏に広がる田園風景は残したい。

これぞ藤川原風景！



格子のあるまちなみや瓦屋根、石垣



■百年後の藤川に…いらない

○藤川宿のまちなみの雰囲気を守るために

- ・派手な色や大きい看板は歴史的な雰囲気に合わない。
- ・電柱や電線をなくしたい。
- ・道路に面して、車や車庫が目立つのはよくない。
- ・アスファルト舗装の色や、側溝のふたは歴史的な景観に合わない。
- ・城山ノ川沿いの白いガードレールが目立ちすぎる。
- ・東棒鼻の背景の、工場などは壁面が見えないほうがよい。
- ・常夜燈の周辺の電柱広告はないほうがよい。
- ・狭い街道沿いを車がたくさん通り抜けるのはよくない。
- ・東棒鼻付近の国道1号の防音壁は色調や素材が歴史的な雰囲気に合わない。

○山や畑の風景

- ・山の稜線上の鉄塔はないほうがよい。
- ・白いガードレールや工場の建物は田園風景にそぐわない（風景にあった色に変えたほうがよい。）

少し危ないかな？



電柱や車の通り抜け



山の稜線の鉄塔、白い工場の壁面

■百年後の藤川に…欲しい（つくりたい）

○建物等について

- ・藤川宿全体を銭屋のような格子のある家が連続するまちなみにしたい。
- ・藤川宿第二資料館は、建て替えて本陣を再現したい。
- ・脇本陣を中心として、地区内の町家を移築し、古いまちなみを集約して守ってほしい。
- ・格子にも種類があるので、この違いなどの特徴も後世に伝えたい。
- ・シャッターや壁などは、落ち着いた色で統一したい。

○橋や道路

- ・橋の欄干を歴史を感じられる素材や色合いにしたい。
- ・城山ノ川のコンクリート護岸は、昔ながらの土手や石垣にしたい。
- ・道路の舗装は、松並木から東棒鼻までは、歴史的な色合いにしたい。
- ・東棒鼻に松並木を再現したい。
- ・関山神社の参道を線路が横断しているが、道標を立てて参道と分かるようにしたい。

何とかしたいね。

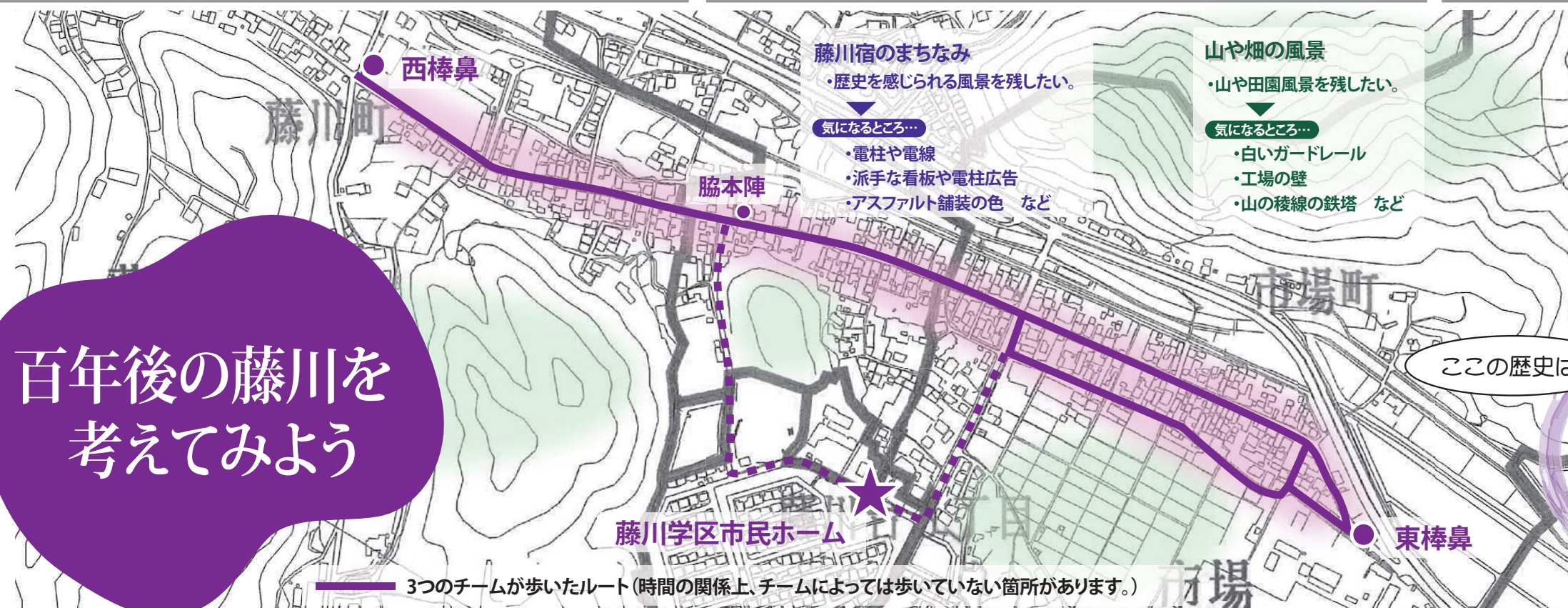


本陣の再現



土手や石垣の護岸

百年後の藤川を
考えてみよう



藤川宿のまちなみ

- ・歴史を感じられる風景を残したい。

気になるところ…

- ・電柱や電線
- ・派手な看板や電柱広告
- ・アスファルト舗装の色 など

山や畑の風景

- ・山や田園風景を残したい。

気になるところ…

- ・白いガードレール
- ・工場の壁
- ・山の稜線の鉄塔 など

3つのチームが歩いたルート（時間の関係上、チームによっては歩いていない箇所があります。）

今回の「まち歩き」では、東海道の藤川宿をしのばせる風景に関連するご意見が多く挙げられました。

また、まちなみの背景となる山々や、田園風景に関連する意見もありました。

「残したい」「いらない」「欲しい（つくりたい）」の意見は視点こそ違いますが、同じ内容をさしているものも多くあります。今回の結果をもとに、藤川地区の風景（景観）をどのようにしていったらよいのか？ということをも第2回のワークショップでさらに考えていきます。

この歴史は…



ちょっと休憩…



ベンチは助かるね〜